

<新規就農者の確保又は認定農業者の育成に取り組む事例>

○認定農業者の育成による効率的な農業の実現

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	香川県東かがわ市 端上			
協定面積 3.9ha	田 (100%) 水稻、小麦	畑	草地	採草放牧地
交付金額 75万円	個人配分 50% 共同取組活動 (50%) 役員報酬 5% 農道・水路管理費 28% その他 17%			
協定参加者	農業者 7人		開始 : 平成17年度	
人・農地プランの作成状況	作成していない (話し合いを実施中)			

2. 取組に至る経緯

当集落は、五名ダムの下流の旧白鳥町入野山地区に位置し、少子高齢化の進む東かがわ市の中でも地理的条件の厳しい中山間地域であるため、この傾向の著しい集落です。

今後、地域コミュニティの維持はもちろん、農地の維持管理が行き届かず、耕作放棄地の増加が懸念されていることから、平成 17 年から中山間地域等直接支払制度に取り組んでいます。

3. 取組の内容

5 年後、10 年後も安心して地域農業が存続できる仕組を考えていくため、新規就農者の確保と認定農業者の育成を柱に、非農家の協力も得ながら集落全体で行う活動を計画的に増やし、協定活動や集落づくり活動への理解促進に努めています。

具体的には、集落協定の中から新規就農者と認定農業者を計 2 名育成することを目標としており、24 年度に 1 名を認定農業者として認定する見込みができました。

また、集落の実情から定年帰農がポイントになると予想されるので、集落としては休日に手伝う子弟についても農業後継者として位置付け、交流・情報交換を行い、技能向上に努めています。

今後も、地域の農業経営の維持を進める上では有効な定年退職後の就農者の支援等を行い、農地や農村環境の保全に取り組んでいく予定です。



【集落の状況把握に欠かせないパトロール活動】



【農業技術などを後継者に伝える活動】

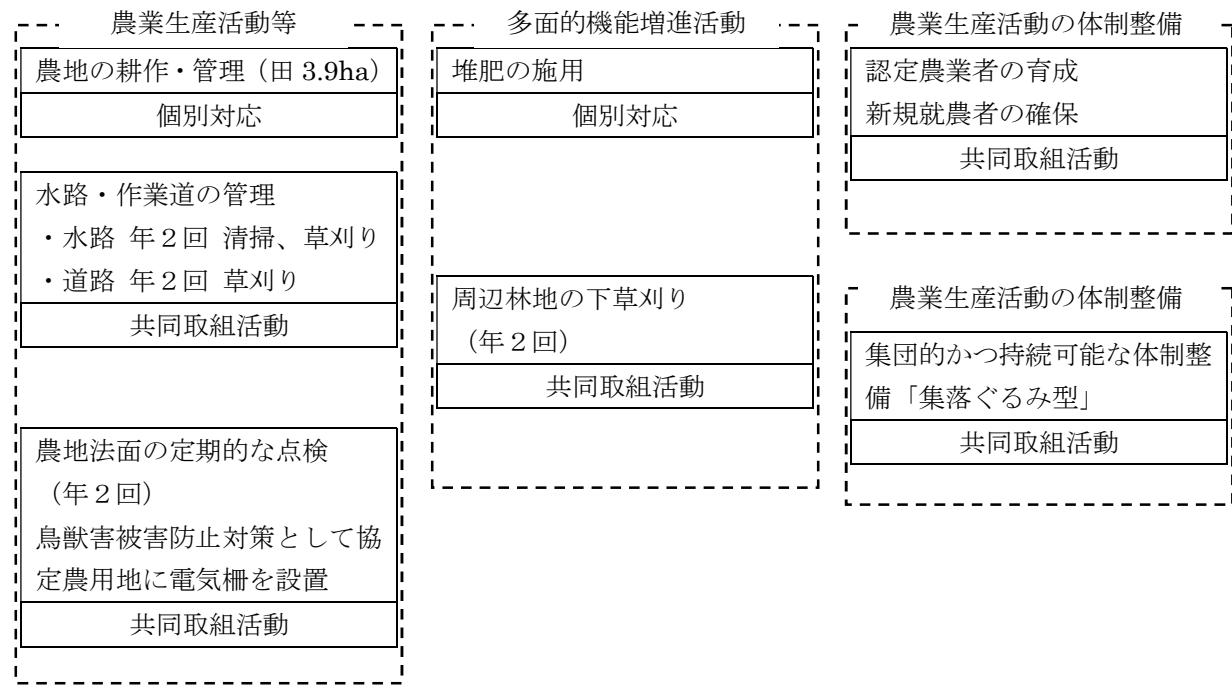
[集落の将来像]

- 集落の核となる認定農業者が効率的な農業を実現し、地域農業の維持を図るとともに、定年退職後の新規就農者を確保することで、地域コミュニティや農地・農村の持つ多面的機能の維持を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

- 認定農業者の育成と新規就農者の確保



4. 今後の課題等

当該活動に取り組んでいても、小規模集落であることから農家数の減少や農業従事者の高齢化が止まらない危機感は払拭されません。今後は、近隣の集落との連携を拡大していくことが必要になると考えており、このためには、話し合いの機会を積極的に増やし、集落の活性化や将来に向けての課題を共有することが必要です。

また、農用地面積に対するあぜの割合が約1割5分と、営農条件に不利な地形から、近年は電気柵による水田個々を囲う防除では被害が減らないので、ワイヤーメッシュによって集落全体を囲う方法に変更し、効果的な鳥獣害対策を目指します。

[第2期対策の主な成果]

- ・耕作放棄地の防止効果
- ・地域・集落の活性化効果
- ・多面的機能の維持効果